



音響技術者の早期育成プロジェクト「真耳」、来年6月から本格展開
～「真耳」のオンライン版をサブスクリプション方式で～

日本音響エンジニアリング株式会社

日本音響エンジニアリング株式会社（本社：東京都墨田区、社長：山梨忠志、資本金：3000万円）は、来年6月から音響技術者の早期育成プロジェクト「真耳」を本格展開いたします。これは音に関する感性の教育・訓練システムで、元々は九州芸術工科大学（現：九州大学芸術工学部）が開発した「聴能形成」という教育システムを業界の技術者向けに発展させ、それをオンラインで提供するものです。

体系化されたトレーニングを受けることにより、さまざまな業界で働く音響技術者の“音を聴き分ける能力”“音を感じる能力”“音を表現する能力”をレベルアップさせます。弊社の調査では、自社以外にこのシステムを取り扱っている会社は国内にはありません。価格は1人あたり月額2000円前後（税別、サブスクリプション方式）を予定しています。

音響技術者の“聴く能力＝聴能”が向上し、音の違いを“共通の言葉”で表現したり、言葉から“共通の音”をイメージできるようになると、製品の設計者、製造者、品質担当者間で具体的な音のイメージを共有できるようになりますので、①既存製品の品質向上 ②新製品開発の期間短縮（試作品数の減少） ③機械の故障やトラブル問題の事前・早期解決などの効果を創出できます。

これまでの「真耳」のシステム販売では、導入したユーザーの育成担当者は、トレーニングの実行に加えて、新たな音源コンテンツの作成・編集、受講者のスケジュール管理、回答結果の集計・閲覧、統計分析等の作業を個々に行う必要があり、その作業時間の捻出が継続運用する上でのネックとなっておりました。

これをオンライン版とすることで、オンラインによる音源コンテンツの配信、Webアプリ上でスケジュール管理や回答集計・閲覧、統計分析がまとめてできるようになり、育成担当者の負荷を大きく低減することができます。

オンライン版の初年度の売上目標は2000万円。弊社にとっては、新元号最初となる新規ビジネスを本格的に展開してまいります。

経緯や導入実績については下記をご参照ください。

・経緯

- 1969年 九州芸術工科大学にて、教科目「聴能形成」を開始
- 1987年 聴能形成の教育機器「真耳」を製作、販売
- 1997年 CD-ROM版「真耳（パーソナルエディション）」を製作
- 2018年10月「聴能形成セミナー」を東京と名古屋で開催。自動車・自動車部品メーカー、電機・精密機器メーカーなど計60名が出席

・これまでの導入実績

自動車メーカー、オーディオ機器メーカー、国立大学・私立大学各1校

・「聴能形成」という商標は、現在弊社が保有しております。



「人とくるまのテクノロジー展 2018 横浜」へ出展

<この件に関するお問い合わせ先>

日本音響エンジニアリング株式会社

〒130-0021 東京都墨田区緑 1-21-10 BR 両国 2 ビル

報道関係者の方からのお問合せ：企画室 山下

電話：03-3634-5307 FAX：03-3634-5327 携帯：090-3228-9621

E-mail: koichi_yamashita@hibino.co.jp

製品に関するお問合せ：ソリューション事業部 柳瀬

電話：03-3634-5300 FAX：03-3634-5350

E-mail: atsushi_yanase@hibino.co.jp